



駐屯地司令新年挨拶



第4施設団長兼ねて  
大久保駐屯地司令  
陸将補 吉春 隆史

新年明けましておめでとうございます。林大久保自衛隊協力会会長、坂下陽融会会長、松田大久保駐屯地桃友会会長、土居45会会長の4協会をはじめ大久保駐屯地協力諸団体の皆様におかれましては、穏やかに令和6年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より陸上自衛隊大久保駐屯地に対しまして、隊員への温かい激励や地域の防衛基盤の育成強化などひとかたならぬご支援・ご協力を賜っておりますことに心から御礼を申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の猛威もほぼ収束し、協力的・協力的団体の皆様をはじめ地域の皆様のお蔭をもちまして例年通りの駐屯地創立記念行事や駐屯地夏まつりなどの各種行事、訓練演習等の隊務を整斉と遂行する事ができましたことに、重ねて感謝を申し上げます。さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、中国の力による現状変更の試みや北朝鮮の度重なる弾道ミサイルの発射、そしてロシアの極東地域での軍事活動の活発化に加え、ロシアによるウクライナ侵略の継続やイスラエルとパレスチナの衝突による中東情勢への影響など懸念される事態が相次ぎ発生しており、戦後、最も厳しく複雑な時代の渦中にあると言っても過言ではないでしょう。また、南海トラフ地震など大規模震災や集中豪雨による広域水害など国内において甚大な被害をもたらす災害発生蓋然性が高まっており、備えの重要性がますます認識をされております。このような中、陸上自衛隊大久保駐屯地に所在する第4施設団をはじめとする部隊員に対する国民や地域からの期待は益々高まっておりますのと感じられて、新年を迎えるにあたって、その期待に応えるべく隊員一同、更に努力をして参る決意を新たにしております。そして、今年度の干支「甲辰」は、「生命や物事が始まり、成長し形が整い、活気が溢れている様子」を意味すると言われ、世の中に新たに希望が満ち溢れ、人々が生き生きと躍動し、光り輝く明るい一年となることを願ってやみません。我々大久保駐屯地第4施設団をはじめ隊員一同は、あらゆる事態に即動し、任務を完遂できる訓練精進で健全な部隊を目指し、協力的・協力的団体の皆様と共に歩んで参る所存でありますので、今年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、本年が皆様方にとりまして、幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

4 協力団体会長新年挨拶



大久保自衛隊  
協力団体会長



会長 林 勉

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和6年の新年をご家族おそろいで健やかに迎えられたとお慶び申し上げます。早いもので令和も早6年を迎え、長引いておりましたコロナウイルスもやっと落ち着きかけて来て、人々の生活や経済活動等にも活気を取り戻してきている状況の時であり、「令和」にふさわしい時代となつてきています。しかし、世界的に見ても各地で紛争が絶えずウクライナでは依然抗争が続く世界を取り巻く情勢は厳しいものがあります。早く終息する事を願うばかりであります。また、国内でも温暖化等の影響による予想不能な災害が多発するなどの不安・安心に從事される隊員の方々にとっては大変厳しいものがあると思っております。それらに対し、常日頃よりあらゆる訓練に励んでおられる皆様には、敬意を表する次第であります。我々協力会としても、地域と共に歩む自衛隊として、更に協力的体制を強化し、隊員の方々は勿論、地域の方々に於かれましては、本年も引き続きご理解とご協力を賜ります様よろしく願っていますと同時に、皆様方にとりまして良い年であることを祈願し、令和6年の新年のご挨拶とさせていただきます。

発行：大久保自衛隊協力会  
陽融会  
大久保駐屯地桃友会  
45会  
編集：第4施設団本部  
第1科広報班  
印刷：進晃堂印刷

駐屯地司令要望事項

地域から信頼される  
駐屯地

紙面紹介

- 1 面  
・駐屯地司令新年挨拶  
・4 協力団体会長新年挨拶
- 2面・3面  
・部隊長新年挨拶及び  
各部隊訓練等記事
- 4 面  
・部隊長隨筆  
・最先任の一言  
・令和5年度演習場秋季整備  
・くみやま商工会フェスタ  
・編集後記

陽融会



会長 坂下 弘親

大久保自衛隊、隊員の皆様、新年あけましておめでとうございます。ご家族の皆様と健やかな新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。この3年間、世界中の人々が新型コロナウイルスに翻弄されて日常生活が儘ならず大変不自由な生活を強いられてきましたが、やっと元の生活に戻りつつあります。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻も今年で2年になり、戦争が一度始まればなかなか止める事ができません。また、パレスチナの奇襲攻撃でイスラエルとの戦争も始まり世界が限りなく危険な状況になってきた様に思います。この様な状況下、自衛隊の皆様は日本の安心安全のため、日々訓練に励まれ、鍛錬を積まれている事に改めて敬意を表したいと思います。隊員の皆様におかれましては、くれぐれもお身体に気を付けてお過ごしください。そして地域から信頼される駐屯地として益々ご活躍されることを期待してまいります。

桃友会



会長 松田 篤彦

新年あけましておめでとうございます。皆様と共に新年を迎えられたことを、心よりお祝い申し上げます。昨年は、コロナ禍もほぼ終わり、駐屯地の各種行事も従来通りの開催となりました。おかげさまで、桃友会も創立50周年を迎え、高山良二氏による記念講演会を開催し、意義深い行事を開催できました。今年度は、「甲辰（きのえたつ）」で「万物が振動して活力旺盛となつて大きく成長し、形が整う年」と言われています。活気あふれる大久保部隊に対し、微力ではありますが、さらなる応援を惜しまずに行つてまいりたいと考えております。世界情勢はともな安定な状況となつておりますが、一喜一憂することなく、精進な部隊育成に向けて、日本のため、社会のため、家族のため、仲間を信じて、隊務に励んでいただきたいと思います。今年が皆様にとって、充実した実り多き年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。

45会



会長 土居 一豊

新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎えるに当たり、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈りいたします。一昨年のロシアによるウクライナ侵襲、昨年のハマスによるイスラエル侵襲は国際秩序を根幹から否定する暴挙です。我が国周辺にあつても、北朝鮮による核・ミサイル開発と弾道ミサイルの発射、中国とロシアによる共同した軍事活動の活発化など、差し迫った脅威となっています。日本も戦後最大の厳しい安全保障環境にあると思われ。国は、今後5年間で防衛力を緊急に強化し、我が国の抑止力・対処力を一層向上させるとしていますが、人無くして装備は動かず、任務に即応する部隊・隊員皆様の存在が日本の平和と安全に繋がっていると確信しています。ひたすら地道な訓練を重ね、我が国の防衛に邁進されている隊員皆様にとりまして、令和6年が明るい年となりますようお祈りし、新年のご挨拶と致します。

# 部隊長新年挨拶及び各部隊訓練等記事

新年明けましておめでとうございます。今年（きのえたつ）は、「甲辰（きのえたつ）」の年で、「甲」は十千の始まり、「辰」は植物が成長して整うと言う意味で、「新しいことを始めて成長する」、「準備してきたことが形になる」と言われております。

地域の皆様へ安全と安心を感じていただくため、将来の安全保障環境に適切に新しい体制を築き上げ、厳しい訓練で汗を流し、「成長」し、「成功」できる年にして参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



千葉 1 佐

新年明けましておめでとうございます。辰年の「たつ（竜、龍）」は十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、令和6年は「変革」や「激動」の年となるようです。

また、時代が動く年といふのは、これまでの努力が実って夢が叶いやすい年でもありますので、部隊・隊員のため、より多くの要望事項の具現化に向けまい進して参りますので、本年も変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願ひ致します。



中江 1 佐

## 第7施設群



土糞積み



幹線道路の整備

第7施設群は、令和5年10月下旬から約2週間、第13旅団、第14旅団、第4施設団、第8高射特科群、中部方面衛生隊、中部方面会計隊、中部方面警務隊、日本原演習場からなる約1,250名をもって、日本原演習場において令和5年度方面隊統制演習場秋季整備を担当・実施しました。

日本原整備隊長（第7施設群長・千葉1佐）は「水平・垂直・平行、一直線」、「事故ゼロ、怪我ゼロ、安全に」の2点を要望しました。

また、隊員皆が力を合わせ、戦車射場のフラット化整備、01ATM射座の改修、測量成果に基づく新設道の検討、総延長約60kmに及ぶ幹線道路の路面整形、各部隊が伐採した木材のチップ化、ATM射座整備等を実施して、日本原演習場の充実及び拡充の推進を図るとともに、長期安定使用に寄りました。

また、施設作業に不慣れな他職種部隊は、技術指導部による技術指導を受けつつ整備を実施し、職種を超えて施設作業能力を向上させることができました。

演習場整備が無事終わり、第7施設群は次の目標である団戦技競技会連覇を目指して日々努力していきます。

## 大久保駐屯地業務隊



膝半屈腹筋

大久保駐屯地業務隊は、11月上旬に今年度4回目の体力検定を実施しました。

当日は天候に恵まれ、気温も20度前後であり、体力検定には絶好の日でありました。

今回の参加者は6名でしたが、業務隊は部隊の特性上、年齢も高く、業務の都合上なかなか練習も満足にできなかった隊員も含まれており、安全に留意しながらの検定となりました。

共通科目である腕立て伏せ及び膝半屈腹筋を実施し、日頃使わぬ筋肉を使い、体が悲鳴をあげている状況でした。

次に共通科目の最大の科目である3000m走を実施しました。

各人はアップを念入りに行い安全に万全を期し、いざ3000m走を開始すると若かりし頃を思い出したのか参加者全員が全力疾走をし、抜きつ抜かれつこのデットヒートを繰り返して、3000m走り抜きました。

久しぶりの全力疾走に参加者全員は充実感に浸り、汗を拭いている状況でありました。

落ち着く暇もなく、戦技検定を実施し、普段はほとんど使用しない64式小銃を握りしめ、水缶を運搬・超壕、疾走を行い、その結果、全参加者合格基準である6級以上をクリアし、無事全員合格の成果を得ました。

今回の体力検定を通じて参加者は改めて体力の必要性を感じ、日頃の鍛錬の継続を誓いました。業務隊は引き続き、駐屯地業務に邁進するとともに一人の戦士として鍛錬を継続し、一部隊・一隊員のために「合言葉」に頑張っていく所存です。



3000m走

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、大隊の隊務運営に對して皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたことを心から感謝申し上げます。

今年、大隊が後方支援隊長による訓練検閲を受閲する予定ですので、平素の支援業務のみならず、被支援部隊との協同訓練を主軸に練成訓練を充実させ、一層飛躍する年にできるよう、訓練・支援に励む所存です。今年も第104施設直接支援大隊をどうぞよろしくお願ひ致します。



林田 2 佐

大久保駐屯地の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は、第3施設大隊に對して多くのご協力を頂きまして、ありがとうございました。おかげ様で、大隊として良き新年を迎えることができました。

引き続き、あらゆる任務を完遂する施設大隊として、「明るく、楽しく、前向き」に、隊務を運営するとともに「駐屯地」に貢献できるよう精進して参ります。本年も、皆様からのご協力・ご支援を宜しくお願ひ致します。



児嶋 3 佐



ダンプのブレーキ液交換整備

第104施設直接支援大隊は令和5年10月中旬から約2週間、方面隊統制演習場秋季整備において、第102施設器材隊が担任した令和5年度後期長池演習場整備に整備隊より整備支援班を派遣するとともに、方面隊統制演習場秋季整備においては、あいはば野演習場と日本原演習場に現地整備隊本部を展開、各中隊から整備員を招集して野整備支援隊を編成し、整備支援を実施しました。

各種故障整備等に対応し、方面隊統制演習場秋季整備の任務完遂に寄りました。

また、本支援には野整備の経験が浅い若年隊員も参加しており、故障探求に苦戦しながら先輩隊員の指導の下、任務達成に邁進し、自信の付与及び成長につながりました。

引き続き、被支援部隊との信頼関係を深めるとともに、隊員を育成して整備技術を向上させ、部隊の精進化を図っていきます。



エンジンオイル点検

第3施設大隊は、令和5年10月中旬から約2週間、青野ヶ原演習場で実施された師団統制演習場整備及びあいはば野演習場で実施された方面隊統制演習場秋季整備に参加しました。

師団統制演習場整備では、新設道路の整備のため、伐採及び測量を実施し、測量技術の向上を図るとともに、今後の整備構想について確立しました。

また、一部崩落道路整備においては、蛇籠による法面保護及び路盤修復を実施するとともに、全長約17キロメートルの幹線道路整備を実施し、施設技術・機械操作能力を向上するとともに、青野ヶ原演習場の安定使用に寄りました。

方面隊統制演習場秋季整備では、機動路新設及び戦車射場の射撃に係る路盤改良・周辺整備並びに全長約20・8キロメートルの幹線道路整備を担当実施し、機械操作能力の向上を図りました。

また、連隊等への機械力支援を実施し、第3師団整備隊の任務完遂に貢献するとともに、あいはば野演習場の安定使用に寄りました。

第3施設大隊は、機能維持・向上した演習場を最大限活用し、引き続き練成訓練にまい進していきたいと思ひます。

## 第3施設大隊



路盤改良（あいはば野演習場）



道路整備（青野ヶ原演習場）



第 3 0 7 ダンプ車両中隊

明けましておめでとうございます。今年もご協力いただき、第307ダンプ車両中隊の活動が盛んに行われています。...



岸本 3 佐

第307ダンプ車両中隊は、令和5年10月上旬に今年度中隊に配属された新配属隊員4名に対し、中隊での職務遂行に必要な知識・技能及び中隊における規則・守則の徹底を図るため、令和5年度新配置隊員戦術小隊訓練を実施しました。...



救急法、車両誘導

第 1 0 2 施設器器材隊

謹んで新春の祝詞を申し上げます。旧年中は、第102施設器器材隊に対して格別にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。...



櫻井 2 佐

第102施設器器材隊は、令和5年10月下旬から10日間、第3施設大隊第104施設直接支援大隊、大久保駐屯地業務隊、中部方面システム通信群及び同衛生隊の支援を受け、令和5年度後期長池演習場整備を担当しました。...



U字溝設置、職場見学

第 4 施設団本部付隊

明けましておめでとうございます。隊員ご家族の皆様並びに日頃より第4施設団本部付隊へのご理解とご協力を賜った地域の皆様に対し、深く感謝を申し上げます。...



佐藤 1 尉

第4施設団本部付隊は、令和5年10月下旬から約2週間、令和5年度方面隊統制演習場秋季整備にあいば野整備隊本部として参加しました。...



無線機の設定、作戦図作成教育

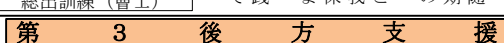
第 3 9 7 会計隊

新年明けましておめでとうございます。昨年8月1日付で着任いたしました八木3佐です。...



八木 3 佐

第397会計隊は、10月下旬の2日間で今年度の訓練の総まとめとして、総出訓練を実施しました。...



総出訓練 (幹部)、総出訓練 (曹士)

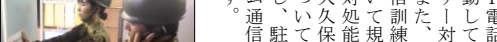
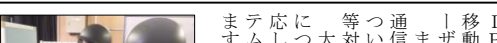
第 3 1 8 基地通信中隊大久保派遣隊

新年明けましておめでとうございます。皆様からのご理解と多大なるご支援ご協力を賜り、基地通信隊の体制移行(常日動化)の検証実施の体制を完了することができました。...



尾崎 3 尉

第318基地通信中隊大久保派遣隊は、中部方面システム通信群で実施された令和5年度群集中訓練に参加しました。...



通信センター開設、サイバー攻撃等対処

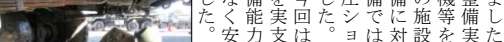
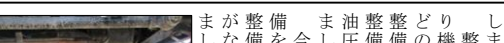
第 3 後方支援連備隊

新年明けましておめでとうございます。また日頃からの多大なるご厚情を賜り心より御礼申し上げます。...



坂口 1 尉

第3後方支援施設整備隊は、令和5年10月中旬から約2週間、令和5年度方面隊統制演習場秋季整備(あいば野)に、師団統制演習場整備(青野ヶ原)にそれぞれ分派して演習場整備支援を行いました。...



故障整備、故障整備

部隊長随筆



第3後方支援連隊 第1整備大隊施設整備隊 1等陸尉 坂口 圭介

「訓練検閲を受閲して」

令和5年3月13日付で第7代施設整備隊長に着任し、この度投稿の機会を頂き、大変有難く思っております。 今回の投稿は、残暑厳しい9月に第3後方支援連隊第1整備大隊長が実施する訓練検閲を自衛隊人生で初めて部隊長として受閲した際に感じたことを記述させていただきます。

まず、我々の部隊は、「第3師団が保有する施設器材の野整備」を任務とし、第3施設大隊をはじめ師団各部隊に対する整備支援を実施して施設器材の高可動維持に努めます。 また、野戦兵站部隊の一部として師団段列を構成し、割り当てられた地域の警戒自衛を担任します。

昨今のウクライナ情勢を鑑みても兵站施設は敵の標的となりやすく、衛星やドローン等の脅威に対応していくことが必要であり、今回の訓練検閲でもそのような状況付与がありました。

あらゆる手段をもって敵から監視されている状況下で「指揮の要訣」を具現実行することの難しさと限られた人材を敵の脅威から守りつつ、その能力を最大限発揮させ任務を遂行することの重大さを痛感しました。

我々、野整備部隊は整備員一人一人が戦力であるため、「真に戦える強い野整備員」の育成と彼らの活動を支える仕組みづくりを喫緊の課題として、今回の訓練検閲で得た教訓事項をしつかりと今後の教育訓練に反映し、部隊と共に成長していく所存です。

今後とも第3後方支援連隊第1整備大隊施設整備隊への「指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最先任の一言



第102施設器材隊 陸曹長 宮野 孝久

「規律の維持」

本年11月6日付で第102施設器材隊最先任上級曹長を拝命致しました。 歴代の最先任上級曹長が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、隊長要望事項である「誇りとこだわりを持って」の具現・徹底を図って参ります。 そのためには、各隊員が仕事にプライドを持ち、与えられた仕事を妥協せず遂げ、自らの成長にも繋げて行くことが必要と考えています。

さて、「規律の厳守」について、「自衛官の心がまえ」の解説には次のようにあります。「自衛隊はその規律の基盤を戦場におく。戦場の目的は、敵に勝ち味方を守ることにある。したがって規律は最も厳正であることを要し、非常危急の際にこそ役に立つものでなければならぬ。厳正な規律によつてのみ、部隊はその行動において正しく、速く、強く、ことに臨んで確実に目的を達成することができる。規律は部隊の生命である。」

改めて、我々が部隊として、有事に即動完遂するため、規律の維持が必要不可欠であることを思い知らされます。

私も最先任上級曹長として、規律の徹底を図り、部隊の精強化に寄与するため、現場に足を運び、部隊・隊員の現状をよく把握してその指導に努めるとともに、隊員と直接対話をして信頼関係を構築しつつ、隊員に上司の意図を伝え、また、現場の声を汲み取り、指揮官と隊員のパイプ役となつて上意下達、下意上達に努める所存です。

引き続き、第102施設器材隊へのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度 演習場秋季整備

大久保駐屯地所在部隊の活躍

令和5年10月中旬から約2週間、大久保駐屯地所在部隊は、京都府、兵庫県、滋賀県、岡山県に所在する各演習場において訓練環境を整えるための整備を行いました。 各部隊は装備する施設器材を最大限活用し、それぞれの部隊が丸となって持ち前の技術力を発揮し、練度の向上を図りました。



木材の伐採



木材のチップ化



碎石の運搬



木材の伐採



射場設備の整備



戦車射場の整備



暗渠の整備



崩壊道路の整備



射場の整備

くみやま商工会フェスタ

令和5年10月29日(日)、京都府宇治市久御山町に所在する久御山商工会館の敷地で4年ぶりに「くみやま商工会フェスタ」が開催されました。 自衛隊ブースを設けていただき、装備品展示・試乗、VR体験、迷彩服・制服の試着を行い、多くのご来場者にお越しいただきました。

ご来場者からは、「自衛隊車両を見かけたことはあったが、試乗したことがなかったので、貴重な体験ができた。」「VRの体験が凄かった。」「迷彩服や制服がカッコよかった。」等の好意的な意見を多くいただき、地域の方々とのふれあいを通じて自衛隊を身近に感じてもらうことができました。



VR体験



自衛隊ブースの準備



VR体験



装備品試乗



迷彩服の試着



装備品試乗

編集後記

大久保駐屯地広報紙「やましろ」読者の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中はご支援、ご協力、誠にありがとうございました。 冬本番を迎え、寒い日々が続きますので、お体には十分に気をつけてお過ごしください。 皆様にとって素晴らしい年となることをお祈り申し上げます。

(やましろ担当 今西3曹)



大久保駐屯地ホームページ



大久保駐屯地 Twitter

現在のフォロワー 12160人!! (6.1.1現在)